

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年8月10日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102674
法人名	株式会社 サンライトメディカル
事業所名	グループホームやすらぎの家
所在地	鹿児島市高麗町22-16 (電話) 099-253-7575
自己評価作成日	平成29年7月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年7月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市内の中心でありながら交通量が少なく閑静な地域になっており、すぐ目の前に公園があり、明るさや風景が生活環境の良さとすぐ近くの甲突河川には桜並木があり、鹿児島では、お花見スポットになっています。1年通じての行事としては、おひな祭・お盆法要・夏祭り・ドライブを兼ねたお寺参りなど出かけている。利用者様とご家族共々が幸せになってこそこの介護だと思っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市の市街地に位置し、周りには学校やコンビニ・商店また協力医療機関などが有り、利便性に恵まれた環境の中にある。  
自治会にも加入し、地域の清掃活動や行事へも参加している。  
ホームの行事の夏祭りや年2回の餅つきへも地域住民の方々が参加し、日常的な交流は図られている。  
運営推進会議へは、管理者自ら警察署へお願いに行き、参加をもらう等多方面からの参加で、具体的な内容での会議となり、運営やサービス向上に反映されている。  
管理者は職員の意見や要望は、日頃より話しやすい環境作りに努め、職員との緊密なる連携の基で、業務改善や利用者の希望に沿ったサービス向上に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	日々の生活の中で朝夕目にする理念を明確し目に付きやすいリビングに掲示し常に理念を共有し職員のネームプレートに基本方針・理念に基づき向上心を持って取り組んでいる。	理念は日々のケアでも意識しやすいリビングに掲示されている、また名札へも記載している。地域と共にという思いを意識しながら、具体的なケアに繋がるように、理念の共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	毎月1回ご家族様やすらぎ通信を発行し伝えている。地域に向けて広報誌を発行配布を行ない理解して頂けるように取り組んでいる。	町内会へ加入し地域の行事への参加やボランティアや体験学習の受入れも行っている。ホーム主催の夏祭りや餅つきへは地域住民に参加を得て交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方が「親が認知症になり、グループホームとはどんなところか見せて欲しい。」「どのように接していいかわからない。」と相談にも気軽に来訪して頂き入居者様とのふれあいや職員と話認知症への理解を深めていただけように取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に於いて外部評価の結果を報告し、今後の取り組みについて話し合いをしたりその場で取り上げた事項について経過を報告しサービスの向上の手がかりにしている。	定例化した会議は利用者・家族や民生委員また警察の方にも参加をもらっている。利用者状況や活動を報告している。今後は多くの家族の参加の機会を得るため行事と抱き合わせた開催も検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談の受け入れ職場体験学習などの場として積極的に受け入れている。市の福祉課の職員、地域包括支援センターに相談し助言を頂いている。	運営推進会議への参加や日頃から訪問や電話等で相談や意見交換おw行っている。市からの研修案内へは積極的に参加し、サービス向上に反映させている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会や業務日誌、申し送りヒヤリハットなどで職員同士や自分自身のその日にケアを振り返り本人の気付かない部分で身体拘束につながる行為を行っていないか話し合う時間を作っている。	法人全体会やホームの研修も実施している。言葉による拘束には特に気を付けスタッフ間で議論するとともに、日々のケアで生じる事例を基に対応について話し合い、安全を確保しながら自由な暮らしを支援する工夫に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修・ミーティングなどで、お互いの言動を払い防止に努めている。虐待防止法の理解浸透に向けた取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修にて学ぶ機会を持ち利用者に代わって言い分や主張が代弁ことが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者の相談を受けた際、事前見学をして頂き当施設だけではなく他の施設の見学も勧め、本人にあった施設を選んで頂くよう助言を行っている。再度来所時に契約書を配布し、契約の際に読み合わせを行ない時間をかけて説明を行ない理解納得の上サインしてもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言動や態度などからその思いを接する努力をし利用者は人生の先輩でありお客様であると思いを忘れることなく利用者本位の運営を行っている。	利用者からは日常の会話を通じて思いや意見を把握出来る様に努めている。家族からは面会時や電話連絡時、また年2回の家族交流会で多くの意見を頂いている。出された意見要望は職員と話し合いケアや運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング、勉強会、申し送りなどを利用している。日頃からコミュニケーションを図るように心掛け問いかけや聞き出しをしてその都度話し合いを行っている。	管理者は日々の申し送りや会議を通して職員の意見要望の把握に努めている。話しやすい環境作りに努め、職員の資格取得へも積極的に支援している。職員から出された意見要望は業務改善やサービス向上に反映されている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の勤務状況を把握し貢献年数により表彰している。また職員の意見の相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員同士、清掃、介護、その他の気づき話し合い対応している。定期的に内部研修を行ない、定例会、定例会議、研修会を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、管理者職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会相互訪問等の活動を通じてサービスの質を向上させていく取組をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用については、事前の利用者様を把握し生活状況・心身状態を把握し利用者様が不安なく入居できるよう職員が入居者様を受け入れられるような関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>傾聴する姿勢で話を伺い施設に対する不安等を十分に受けとめ信頼関係を作っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>早急な対応が必要な相談には可能な限り柔軟な対応を行ない、場合によっては包括支援センターや他の事業者のサービスに繋げるように対応していく。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様は人生の先輩であると言う考えを職員が共有し、普段から教えをもらう場面が支援する側、される側を言う意識はもたず共に支える関係づくりに留意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら、利用者様の日々出来事や気づきの情報を共有し、利用者様を支えていくための協力を保ち同じ思いで支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域に暮らす馴染みの知人、親戚の方、友達の方が気楽に来訪したり、継続的に交流できるように働きかけている。	地元からの利用者が多いので、友人知人の来訪が多い。一時帰宅や外食は家族が支援し遠方の家族や友人知人への手紙の代筆や電話の取次など、馴染みの関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が支えあっておられる。関係性について情報把握に努め、日々心身状態・感情の変化することもあるので、職員が注意深く見守り、調整役となり支援していく。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状、暑中見舞いを差し上げる事で近況を知らせて下さっている。場合によっては電話をさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の行動や表情・言動の中から訴えの真意を察し職員一人ひとりが状況を共有し同じ方向性に支援できるように努めている。	日々の生活の中で、利用者の希望を聞いたり表情やしぐさ等から思いや意向の把握に努めている。困難な場合には家族からの情報やスタッフ間で話し合い、本人本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様、福祉関係者、サービス利用の経過、生活歴の情報交換を行い、性格、生活環境の把握に努め、スタッフ間で共有支援していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者1人ひとりの生活リズムや心身状態の把握に努め、出来ること、出来ない事を見極め支援するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎週、定例会を開き1人ひとりも問題点をあげ、本人、ご家族様・主治医はじめ、スタッフ間で意見交換を行い、モニタリングし、本人に適した介護計画を作成している。	利用者や家族の意向、主治医の意見も取り入れ、3ヶ月毎にモニタリングを実施し変化に応じて見直しをしている。地域と家族を入れるプラン、聞き出したものを多く取り入れる介護計画を今後は作成するよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、夜間業務巡回日誌、ケース記録の確認、申し送り等職員間で情報交換を行い、共有し把握に努め支援して活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関や利用者様、ご家族様の希望するかかりつけ医と連携を図り、受診の際は、送迎など臨機応変に支援し利用者様、ご家族様の満足感が高められる様努力している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様と地域とのさまざまな接点を見直し、地域の中でその人らしく生活できるように民生員・消防・警察などの意見交換の場を設定し安全で豊かな生活を楽しんで頂ける支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関以外のかかりつけ医の医療を受けられるご家族と協力し同意を得たうえで要望があれば職員が代行でつきそい支援している。	利用前の受信状況は十分に把握され、ほとんどの利用者が協力医療機関をかかりつけ医とし、月2回の往診を受け毎日を安心して過ごすことに繋がっている。他科受診は家族の協力で同行受診となっているが、状況に応じ職員が支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関に認知症について相談、指示、助言を受け対応し、専門医等の受診を個別に行っている。24時間気楽に相談できる看護師、医師が配置され連携が取れている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には出来るだけ見舞うようにしている。又早期退院に向けてご家族と協力しながら医療機関と情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や終末期におけるホームの体制をご家族との話し合いの場を設け、訪設の方針として具体的な方針を含め資料の作成を行いません。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入所時に重度化した場合についての説明を行っている。現在は看取りは行わない方針になっているが、重度化した時点で再度家族の希望を確認して、事業所で出来る最大限の支援が出来るよう体制の構築に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを整備し、職員研修等で周知徹底を図ってる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署、SPR九州ビルシステム職員の協力を得て、避難訓練（日勤帯、夜勤帯想定）を行っている。同時に避難経路を確認や消火器を使った訓練も行っている。関連施設、近隣の方々の協力をお願いしている。</p>	<p>年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。自動通報装置やスプリンクラーも設置され関連施設や地域住民との協力体制も出来ている。災害時の備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の声かけやケアの方法が自尊心に配慮したやり方であるかの検証を行っている。入浴や排せつ介助の際は、配慮してさりげなく支援している。	利用者の人格を尊重し、日々のケアに際して尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応を行わないように取り組んでいる。職員は法人の研修やミーティング等を通じて情報を共有して実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は家族の思いに寄り添いながら利用者様の日々の出来事や気づきの情報を共有し利用者様を支えていくための協力関係を保ち同じ思いで支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の行事に利用者様をあわせずその人の生活リズム時間に配慮しその点の気持ちを尊重して出来るだけその人らしい日々を大切にして支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の馴染みの理・美容院で希望に合わせたカットをしていただけるように支援したり来訪して頂くなどして支援して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みや苦手なもの、アレルギー食材その日の健康状態などを把握し、利用者様との会話の中から時にはメニューを決めたり、旬のものを取り入れ食事を楽しくするようにしている。	メニューはその日の当番が利用者の要望を取り入れ、旬の食材を利用して作っている。出来る方には食事の下膳の手伝いやテーブル拭きもいっしょにしている。季節の行事食や弁当持参の外出など、利用者の楽しみにつながる工夫も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量チェックを行ないお茶以外の好みの飲み物を提供し、水分不足の防止に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者一人ひとりの状態に応じて毎食後の口腔ケアを習慣づけ、口腔内の清潔保持の支援を行なっている。必要に応じて歯科疱疹を依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行ない、排泄のパターン、習慣を把握し、トイレ内の排泄を促し、自立支援に向けた支援を行なっている。	利用者の様子観察や排泄チェック表の活用で、排泄パターンを把握し可能な限りトイレで排泄出来るように支援している。現在ポータブルトイレの利用者はいない、トイレでの排泄が継続出来る工夫で自立支援に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取、繊維食品の摂取を心掛け、レクリエーションに適度な運動を取り入れ便秘の予防に努めている。状況によっては主治医に相談、服薬コントロールを行ない、便秘予防の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調を考慮して、希望にそって入浴を楽しんで、いただいている。又体調不良時は、清拭を行ない、清潔保持の支援を行なっている。	入浴は週3回であるが、利用者の希望に添った入浴ができるように支援している。くつろいだ入浴ができるようしょうぶ湯やゆず湯など工夫して入浴を楽しみなものになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	様子をみて必要があれば、昼寝をとっている。夜間は利用者様それぞれの状況に合わせる。照明の調整等を行ない安眠できるよう支援を行なっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様個別にファイルを作り、理解を深めている。服薬変更があれば申し送り、把握して努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人ひとりの状況を把握し、好きな事、得意な事、スタッフと一緒に出来ることを取り入れ、楽しみながら気分転換を図れるよう支援する。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の健康状態や天候をみながら本人の希望によって目の前の公園に散歩に行ったり、公園での近隣の方々との挨拶や会話も交わしている。数回、お寺参りや近隣の施設の交流も行っている。	利用者の体調や天候を見ながら、目の前の公園への散歩や買い物に出かけている。個別支援では家族の協力で外出される方もいる。今後は車の利用が可能になるので、全員での外出を計画する予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族、本人の納得のもと、金銭預かり、収支状況等個人のおこづかい帳を作り「やすらぎ通信」にて報告している。金銭の使用については、そのつど家族に了解していただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があればいつでも電話、手紙を書ける状況を作りプライバシーに配慮している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に感じて頂ける様、リビングは広く明るくゆったりとしたスペースや神棚、ブッタン等配置されている。</p>	<p>リビングは広く明るくゆったりとしたスペースとなっている。台所は利用者の様子が十分に把握できる対面式になっている。日中のほとんどをリビングで過ごす利用者にとって喚起や採光、清潔に配慮された共有スペースは居心地よく過ごせる工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングには、各自専用の席があり、自由に場所を変えることもできる。リビングの他に和室も自由に使える。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は窓も広く明るくベッドや洗面台、エアコンが置かれている。又洋服掛けやタンス、写真や小物のまわりの日用品を持ち込んでもらい自分の部屋として過ごしている。</p>	<p>使い慣れたタンスや籐の椅子・テーブル、また写真を飾ったり本人が居心地よく過ごせるよう工夫されている。最近では地震対策として高さの高い物は転倒を考え置かない様に注意している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>風呂場・トイレ等の場所が解りやすい様にプレートで表示し、リビング内の席も安全に過ごせる様整備している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない